

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第109回)

2024年 1月～3月期 実績

2024年 4月～6月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
(1) 設問に対する業種別回答	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
(2) 業種別D I 値について	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
(3) 全体D I 値について	8
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
(4) 比較資料編	9
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2024年3月
- ② 調査対象期間 今期（2024年1月～3月期）に対する前期（2023年10月～12月期）及び前年同期（2023年1月～3月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	201	74.4 (%)
輸送機器	40	→	32	80.0 (%)
その他製造	40	→	32	80.0 (%)
建設業	50	→	41	82.0 (%)
卸売業	30	→	20	66.7 (%)
小売業	40	→	25	62.5 (%)
サービス業	70	→	51	72.9 (%)

5. D I 値について

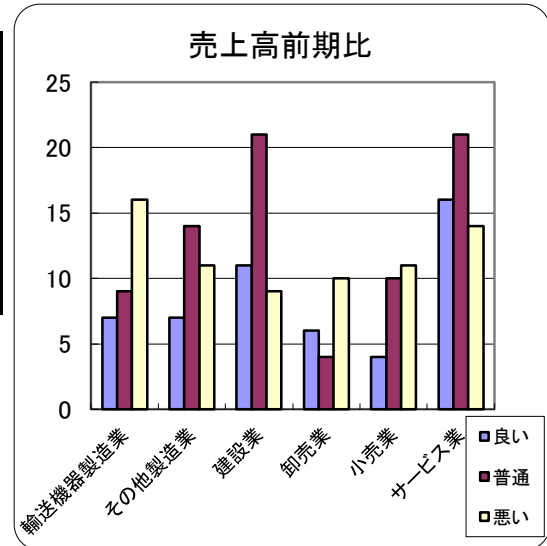
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例: ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

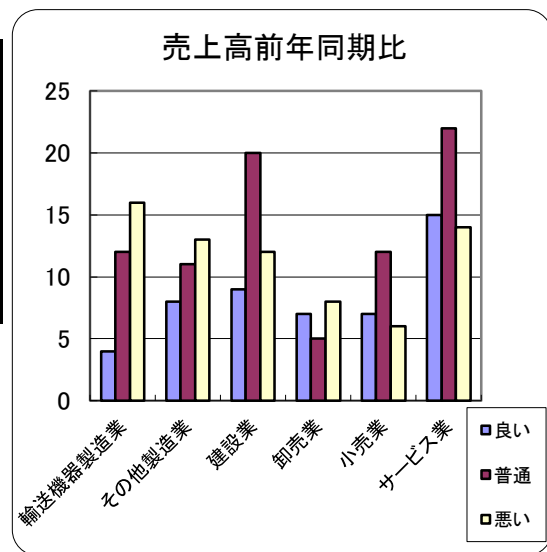
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	9	16	32	▲ 28.1
その他製造業	7	14	11	32	▲ 12.5
建設業	11	21	9	41	4.9
卸売業	6	4	10	20	▲ 20.0
小売業	4	10	11	25	▲ 28.0
サービス業	16	21	14	51	3.9
合計	51	79	71	201	▲ 10.0



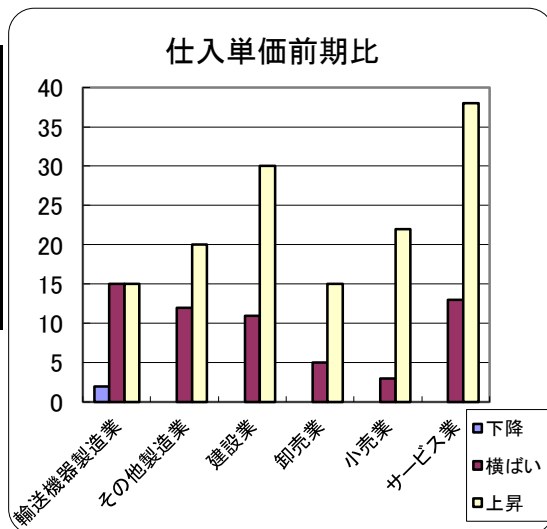
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	12	16	32	▲ 37.5
その他製造業	8	11	13	32	▲ 15.6
建設業	9	20	12	41	▲ 7.3
卸売業	7	5	8	20	▲ 5.0
小売業	7	12	6	25	4.0
サービス業	15	22	14	51	2.0
合計	50	82	69	201	▲ 9.5



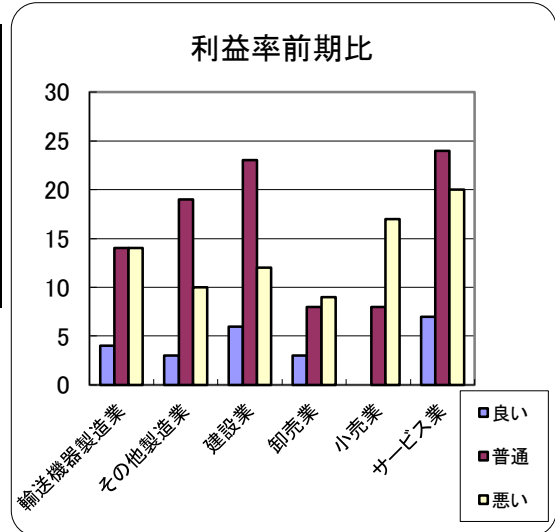
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	2	15	15	32	▲ 40.6
その他製造業	0	12	20	32	▲ 62.5
建設業	0	11	30	41	▲ 73.2
卸売業	0	5	15	20	▲ 75.0
小売業	0	3	22	25	▲ 88.0
サービス業	0	13	38	51	▲ 74.5
合計	2	59	140	201	▲ 68.7



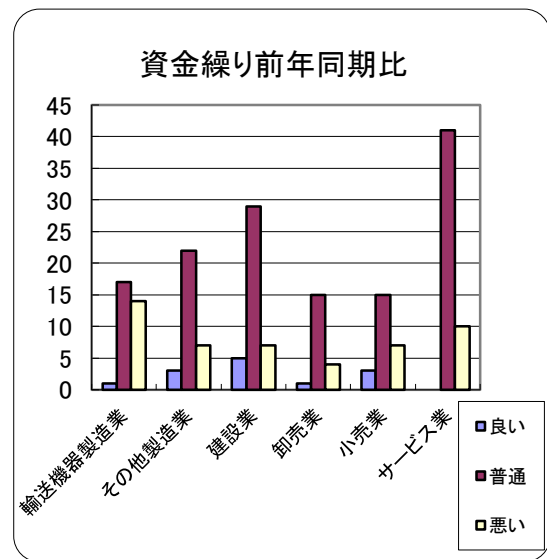
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	14	14	32	▲ 31.3
その他製造業	3	19	10	32	▲ 21.9
建設業	6	23	12	41	▲ 14.6
卸売業	3	8	9	20	▲ 30.0
小売業	0	8	17	25	▲ 68.0
サービス業	7	24	20	51	▲ 25.5
合計	23	96	82	201	▲ 29.4



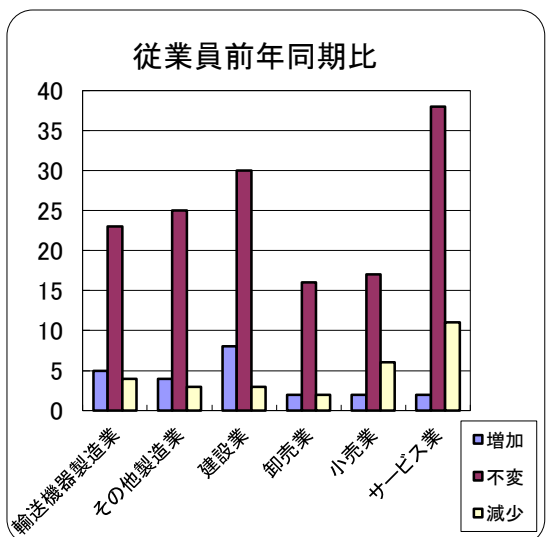
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	17	14	32	▲ 40.6
その他製造業	3	22	7	32	▲ 12.5
建設業	5	29	7	41	▲ 4.9
卸売業	1	15	4	20	▲ 15.0
小売業	3	15	7	25	▲ 16.0
サービス業	0	41	10	51	▲ 19.6
合計	13	139	49	201	▲ 17.9



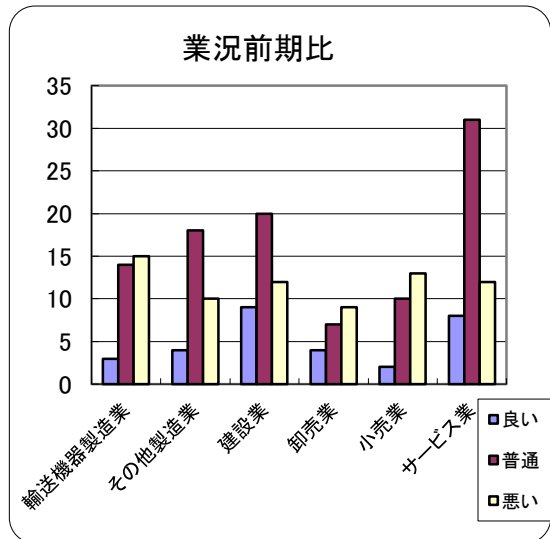
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	5	23	4	32	3.1
その他製造業	4	25	3	32	3.1
建設業	8	30	3	41	12.2
卸売業	2	16	2	20	0.0
小売業	2	17	6	25	▲ 16.0
サービス業	2	38	11	51	▲ 17.7
合計	23	149	29	201	▲ 3.0



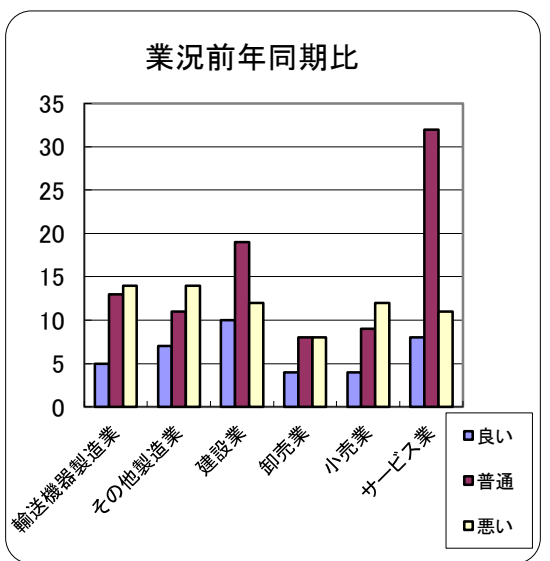
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	14	15	32	▲ 37.5
その他製造業	4	18	10	32	▲ 18.8
建設業	9	20	12	41	▲ 7.3
卸売業	4	7	9	20	▲ 25.0
小売業	2	10	13	25	▲ 44.0
サービス業	8	31	12	51	▲ 7.8
合計	30	100	71	201	▲ 20.4



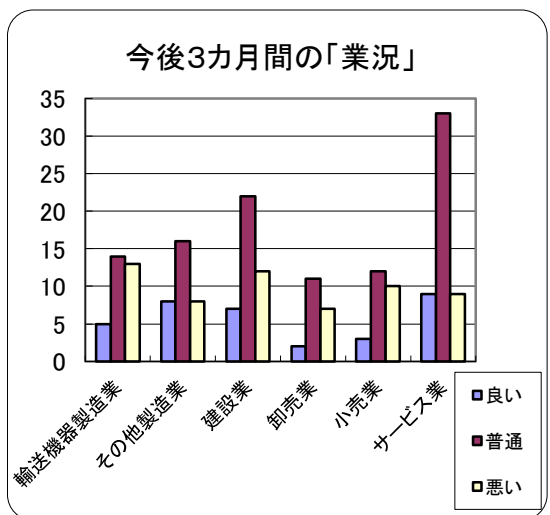
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	13	14	32	▲ 28.1
その他製造業	7	11	14	32	▲ 21.9
建設業	10	19	12	41	▲ 4.9
卸売業	4	8	8	20	▲ 20.0
小売業	4	9	12	25	▲ 32.0
サービス業	8	32	11	51	▲ 5.9
合計	38	92	71	201	▲ 16.4



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	14	13	32	▲ 25.0
その他製造業	8	16	8	32	0.0
建設業	7	22	12	41	▲ 12.2
卸売業	2	11	7	20	▲ 25.0
小売業	3	12	10	25	▲ 28.0
サービス業	9	33	9	51	0.0
合計	34	108	59	201	▲ 12.4



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	22.9	▲ 28.1	▲ 51.0
売上高前年同期比	14.3	▲ 37.5	▲ 51.8
仕入単価前期比	▲ 60.0	▲ 40.6	19.4
利益率前期比	▲ 17.1	▲ 31.3	▲ 14.2
資金繰り前年同期比	0.0	▲ 40.6	▲ 40.6
従業員前年同期比	20.0	3.1	▲ 16.9
業況前期比	0.0	▲ 37.5	▲ 37.5
業況前年同期比	2.9	▲ 28.1	▲ 31.0
今後3ヶ月間の業況見通し	2.9	▲ 25.0	▲ 27.9

[企業コメントより]

- ・業況が回復傾向にあります【金属加工・省力機械】
- ・仕事は多いし話も来ているけど、利益率は良くない(コロナ禍前に比べて)【モデル製造】
- ・客先の生産ストップにより売上が減少【自動車用ゴム・樹脂部品】
- ・取引先の開発が遅れているため、新規部品の製作ができない。部品や材料はなにかしら上がってきている傾向。仕事量はやや減少気味【自動車用金属部品】
- ・人件費が上昇しているので利益を圧迫している。業況は良くなる見通したが、人件費や引き続きの電力費等が上昇傾向にあるため油断はできない。【金属パイプ加工】
- ・客先の在庫調整【金属切削加工】
- ・能登地震により自動車部品が調達出来ず、当社の部品も発注が減少したため【樹脂成型加工】

その他製造業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	12.5	▲ 12.5	▲ 25.0
売上高前年同期比	▲ 18.8	▲ 15.6	3.2
仕入単価前期比	▲ 59.4	▲ 62.5	▲ 3.1
利益率前期比	▲ 37.5	▲ 21.9	15.6
資金繰り前年同期比	▲ 21.9	▲ 12.5	9.4
従業員前年同期比	▲ 6.3	3.1	9.4
業況前期比	0.0	▲ 18.8	▲ 18.8
業況前年同期比	▲ 31.3	▲ 21.9	9.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 15.6	0.0	15.6

[企業コメントより]

- ・昨年は暖冬だったため追加(発注)がまったく無かったが、2023.10~12月期は先に発注をもらっていたためそれ程の数字の落ち込みはなかった。今期(1~3月)は、前期売れなかった分、今期の予算が無く極端に受注が少ない【ニット製品製造】
- ・各社の開発が活発になってきている【省力化・自動化機械】
- ・春闘での満額回答が相次ぐ中、次に求められるのは中小企業の値上げである。4月の物流費上昇に加え、人件費の増加で負担が更に増すが、適正な価格転嫁が今後求められることになるので、しっかり対応していきたい。【食品製造】
- ・取引会社の廃業や車関係の仕事の鈍化により、昨年同期に比べるとかなり良くない。アルミ材料会社の方によれば、来年は半導体関係が忙しくなりそうとのことだが、まわりがそれまで持ちこたえられるのかが心配である。車関係がGWくらいに動きがありそうなので、なんとかそれまで頑張りたい【樹脂・金属切削加工】
- ・製品の品質に左右されています【パレット製造】

建設業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 18.2	4.9	23.1
売上高前年同期比	▲ 15.9	▲ 7.3	8.6
仕入単価前期比	▲ 77.3	▲ 73.2	4.1
利益率前期比	▲ 15.9	▲ 14.6	1.3
資金繰り前年同期比	▲ 9.1	▲ 4.9	4.2
従業員前年同期比	13.6	12.2	▲ 1.4
業況前期比	▲ 20.5	▲ 7.3	13.2
業況前年同期比	▲ 18.2	▲ 4.9	13.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 9.1	▲ 12.2	▲ 3.1

[企業コメントより]

- ・今期1~3月期の弊社業績は、工事発注量の低下により売上と利益が下がりました。なかでも材料コストの上昇が大きな影響を与えています。それに人手不足と高齢化による業界の不安も続いています。しかし、5月以降は業績が回復する見込みで、それまでに効率化を推進する必要があります【建設付帯工事】
- ・(業績改善は)3年前に営業していた事がやっと実ってきたからです【総合建設】
- ・現場数がかかなり少ない【建設付帯工事】

卸売業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	23.8	▲ 20.0	▲ 43.8
売上高前年同期比	38.1	▲ 5.0	▲ 43.1
仕入単価前期比	▲ 85.7	▲ 75.0	10.7
利益率前期比	0.0	▲ 30.0	▲ 30.0
資金繰り前年同期比	▲ 14.3	▲ 15.0	▲ 0.7
従業員前年同期比	19.1	0.0	▲ 19.1
業況前期比	14.3	▲ 25.0	▲ 39.3
業況前年同期比	19.1	▲ 20.0	▲ 39.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 10.7

[企業コメントより]

- ・ケーブル、電線類の不足が大きく響いている。欲しいものが入手できず、「仕事にならない」とお客様からお叱りを受ける日々が続いている。同業他社も同様に苦勞しているようで、業界内では騒いでいるのに大きなニュースにならないのが不思議である。4月からは多くの商材が値上がりし、更に送料の見直しも行われることもあり、益々厳しくなりそうだ！【電気関係資材卸】
- ・(業況改善は)団塊世代が後期高齢者になり、需要が高まってきているのではないかと【医療器機材卸】
- ・受注減少【生活支援材卸】
- ・(設備投資)補助金の一服感から機械設備の売上が減少、総合的には減収増益で推移【金型部品卸】

小売業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	▲ 28.0	▲ 28.0
売上高前年同期比	▲ 29.4	4.0	33.4
仕入単価前期比	▲ 70.6	▲ 88.0	▲ 17.4
利益率前期比	▲ 47.1	▲ 68.0	▲ 20.9
資金繰り前年同期比	▲ 35.3	▲ 16.0	19.3
従業員前年同期比	▲ 14.7	▲ 16.0	▲ 1.3
業況前期比	▲ 38.2	▲ 44.0	▲ 5.8
業況前年同期比	▲ 52.9	▲ 32.0	20.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 50.0	▲ 28.0	22.0

[企業コメントより]

- ・暖冬の影響により冬物衣料の販売が伸び悩んだ【レジャー・生活雑貨】
- ・売上は2019年並みに戻りましたが、人件費、諸経費の上昇、諸々の事務仕事量の増加が利益を圧迫しており、人員の不足(流出)により今後売上を保つ為に厳しくなる【化粧品・装飾品】
- ・原材料費は高止まりしています【食肉加工品】
- ・1月は前年同期よりも良かったが、2月、3月(上旬)は前年同期に比べて良くない【飲料小売】
- ・年末はお金の動きが活発に感じられたが、年が明けると新年会もなく、とても悪い状況である【飲料小売】
- ・仕入単価上昇及び物流の2024年問題(を懸念している)【食料・雑貨】
- ・春闘・大手中心に(賃上げは)高水準。今後はうちのような小企業者でも価格転嫁が進み、仕入値アップが吸収できて初めて昇給が検討できるわけでそれはいつか? 4月以降の動向を見守る【嗜好品販売】

サービス業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 5.6	3.9	9.5
売上高前年同期比	▲ 7.4	2.0	9.4
仕入単価前期比	▲ 68.5	▲ 74.5	▲ 6.0
利益率前期比	▲ 37.0	▲ 25.5	11.5
資金繰り前年同期比	▲ 11.1	▲ 19.6	▲ 8.5
従業員前年同期比	▲ 13.0	▲ 17.7	▲ 4.7
業況前期比	▲ 11.1	▲ 7.8	3.3
業況前年同期比	▲ 14.8	▲ 5.9	8.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 5.6	0.0	5.6

[企業コメントより]

- ・売上、原価共に増加と減少が拮抗している【情報サービス】
- ・工場で発生した労災事故の結果、生産台数が激減しており、経営状態に甚大な悪影響をきたしている。ゴールデンウィーク明けから本格的な復旧になるかどうか気をもんでいる【陸送】
- ・取引先の操業停止の影響【陸送】
- ・(取引先が)運賃をあげない(あげてくれない)。【運送】
- ・徐々に自社を取り巻く環境は良くなっていると思うが、原材料やエネルギーが高止まりしているため中小企業にとっては厳しいのではないかと感じる。円安が過度に進み過ぎている【広告代理店】
- ・コロナムードの影響が未だ残り、現在のあまりよくない業況に表れていると思われます。宴会等をみますと企業様に縮小ムードがあります。弊社といたしましては、親切・丁寧な施行を目指します【食事サービス】
- ・自動車メーカーおよび産業機械メーカーの偽装の影響で、この分野のV字回復のはずの話が繰り延べになり、各下請業者は窮地に立たされている。ある金型メーカーなどはコロナ借入の返済を先延ばししていたのが4月から(返済が)始まり、仕事が昨年10月から入る予定が、未だまともな受注がなく、返済が開始されれば、キャッシュはまたたく間に無くなってしまおうと言っていた。弊社も各取引先の仕入量減少によりなんとかキャッシュは維持しているが、動向次第でどうなるか【金属資源回収】
- ・テイクアウトのお客様が減り、お店で飲食される方が増えてきました(コロナ・インフルの影響が減ったため)【喫茶店】

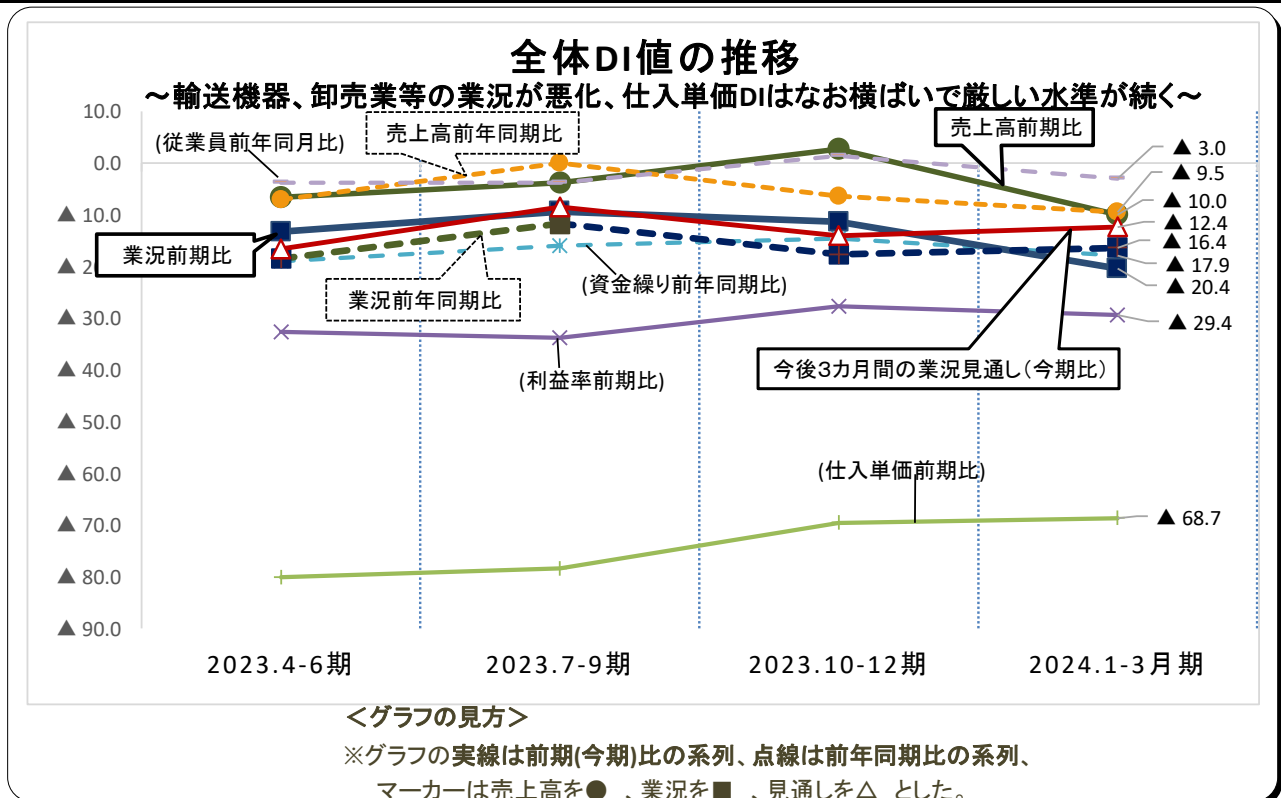
(3)全体DI値について

全 体 D I 値	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	2.7	▲ 10.0	▲ 12.7
売上高前年同期比	▲ 6.4	▲ 9.5	▲ 3.1
仕入単価前期比	▲ 69.6	▲ 68.7	0.9
利益率前期比	▲ 27.7	▲ 29.4	▲ 1.7
資金繰り前年同期比	▲ 14.6	▲ 17.9	▲ 3.3
従業員前年同期比	1.4	▲ 3.0	▲ 4.4
業況前期比	▲ 11.4	▲ 20.4	▲ 9.0
業況前年同期比	▲ 17.7	▲ 16.4	1.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 14.1	▲ 12.4	1.7

<動向について>

- ・1-3月期の業況前期比DIは全業種ベースで低下した。業種別には輸送機器がメーカーの生産一時停止などの影響で37.5ポイント低下、卸売業も売上減少等により大幅に低下している。
- ・前期調査では改善した仕入価格DIだが、今期は頭打ちで全業種ベースでは横ばい。DI値の水準も▲68.7と依然大きなマイナスのままである。小売業・サービス業などでは悪化方向にシフトした。
- ・今後3ヶ月間の業況見通しDIは、全業種ベースで今期比1.7ポイントの改善も横ばい範囲内。小売・サービス業、その他製造業は改善を予想するが、輸送機器は今期比27.9ポイント低下予想と慎重な見方である。

全体DI値の推移	2023.4-6期	2023.7-9期	2023.10-12期	2024.1-3月期
売上高前期比	▲ 6.6	▲ 3.8	2.7	▲ 10.0
売上高前年同期比	▲ 7.1	0.0	▲ 6.4	▲ 9.5
仕入単価前期比	▲ 80.1	▲ 78.4	▲ 69.6	▲ 68.7
利益率前期比	▲ 32.7	▲ 33.8	▲ 27.7	▲ 29.4
資金繰り前年同期比	▲ 19.0	▲ 16.0	▲ 14.6	▲ 17.9
従業員前年同期比	▲ 3.8	▲ 3.8	1.4	▲ 3.0
業況前期比	▲ 13.3	▲ 9.4	▲ 11.4	▲ 20.4
業況前年同期比	▲ 18.5	▲ 11.7	▲ 17.7	▲ 16.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 16.6	▲ 8.5	▲ 14.1	▲ 12.4



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 20.3	▲ 9.1	-	-
建設業	4.9	▲ 9.6	-	-
卸売業	▲ 20.0	▲ 4.8	-	-
小売業	▲ 28.0	▲ 14.8	-	-
サービス業	3.9	3.3	-	-
全体	▲ 10.0	▲ 6.3	-	-

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 26.6	-	▲ 4.1	1.5
建設業	▲ 7.3	-	▲ 6.2	
卸売業	▲ 5.0	-	0.5	
小売業	4.0	-	▲ 4.0	0.1
サービス業	2.0	-	11.1	
全体	▲ 9.5	-	0.1	0.4

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 51.6	-	▲ 52.9	-
建設業	▲ 73.2	-	▲ 69.2	-
卸売業	▲ 75.0	-	▲ 59.8	-
小売業	▲ 88.0	-	▲ 68.4	-
サービス業	▲ 74.5	-	▲ 61.2	-
全体	▲ 68.7	-	▲ 61.6	-

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 26.6	▲ 23.4	▲ 14.5	0.8
建設業	▲ 14.6	▲ 26.8	▲ 18.6	
卸売業	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 14.1	
小売業	▲ 68.0	▲ 31.5	▲ 14.1	0.1
サービス業	▲ 25.5	▲ 22.3	▲ 6.7	
全体	▲ 29.4	▲ 25.2	▲ 13.0	0.3

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 26.6	▲ 10.6	▲ 12.3	7.0
建設業	▲ 4.9	▲ 8.6	▲ 7.2	
卸売業	▲ 15.0	▲ 6.8	▲ 7.6	
小売業	▲ 16.0	▲ 15.5	▲ 15.2	13.0
サービス業	▲ 19.6	▲ 7.0	▲ 9.5	
全体	▲ 17.9	▲ 10.1	▲ 10.8	11.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	3.1	▲ 5.0	－	－
建設業	12.2	▲ 5.1	－	－
卸売業	0.0	▲ 1.2	－	－
小売業	▲ 16.0	▲ 4.7	－	－
サービス業	▲ 17.7	▲ 4.3	－	－
全体	▲ 3.0	▲ 4.5	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 28.1	▲ 12.8	－	▲ 1.0
建設業	▲ 7.3	▲ 8.9	－	15.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 7.6	－	11.0
小売業	▲ 44.0	▲ 19.2	－	8.0
サービス業	▲ 7.8	▲ 3.5	－	25.0
全体	▲ 20.4	▲ 10.4	－	7.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

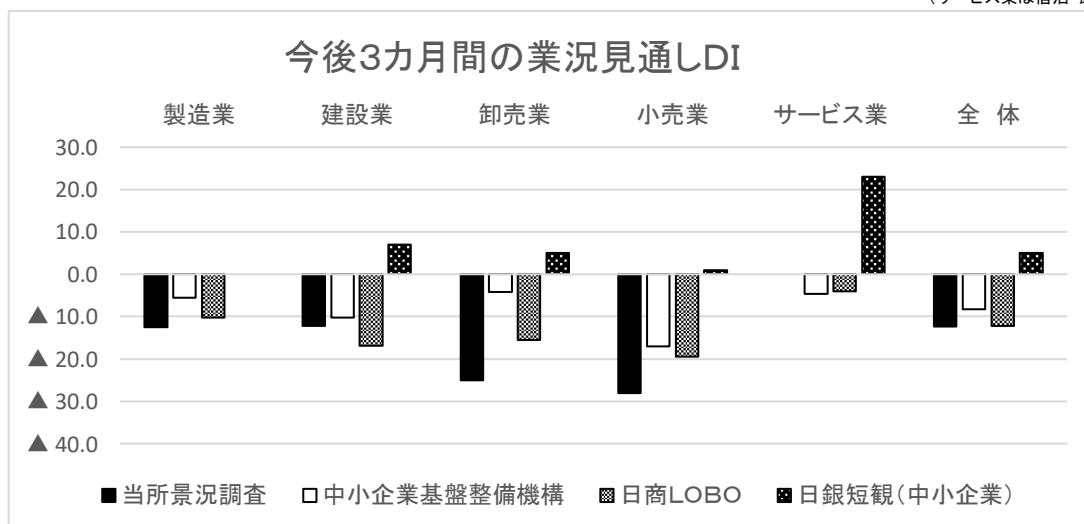
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 25.0	－	▲ 15.1	－
建設業	▲ 4.9	－	▲ 13.6	－
卸売業	▲ 20.0	－	▲ 15.7	－
小売業	▲ 32.0	－	▲ 16.2	－
サービス業	▲ 5.9	－	▲ 4.5	－
全体	▲ 16.4	－	▲ 12.4	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 12.5	▲ 5.5	▲ 10.3	0.0
建設業	▲ 12.2	▲ 10.3	▲ 16.9	7.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 4.2	▲ 15.5	5.0
小売業	▲ 28.0	▲ 17.0	▲ 19.4	1.0
サービス業	0.0	▲ 4.6	▲ 4.0	23.0
全体	▲ 12.4	▲ 8.2	▲ 12.2	5.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2024年(令和6年)4月22日 発行